



鳥の宝を守り伝えるために



NPO法人
徳之島
虹の会

☎ 0997-86-3575
✉ shimaniji@gmail.com

知っていますか？ トキソプラズマ感染症

【参考論文】

Shoshi et al. (2021) J. Vet. Med. Sci. 82: 333-337.

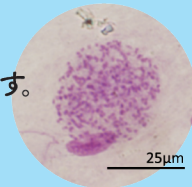
Okada et al. (2022) Int. J. Parasitol. Parasites Wildl. 19: 96-104.

なかなか終わりの見えない新型コロナウイルス。発端は、動物に感染していたウイルスが人に感染したことでしたね。動物から感染する病気は、他にもたくさんあります。今回は、身近なのにあまり知られていない「トキソプラズマ」について、森林総合研究所の主任研究員である亘 悠哉先生に教えてもらいました。



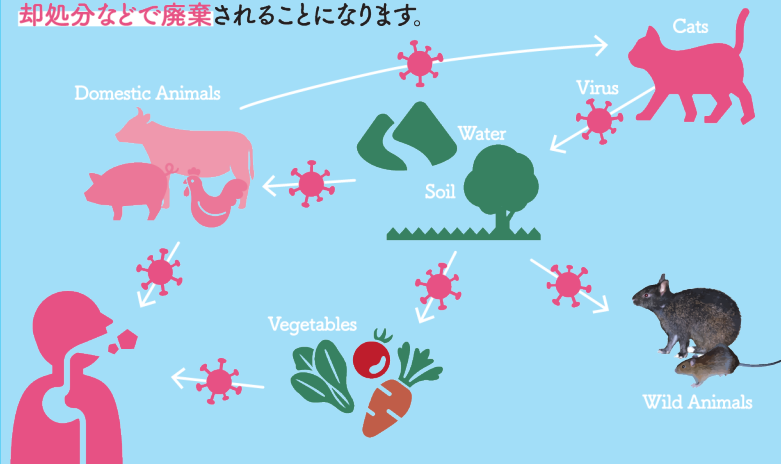
「トキソプラズマ感染症」は、人と動物の共通感染症です。

ネコの糞便に排出されるウイルス（トキソプラズマ原虫）が水や土壌を汚染し、ネズミや野生動物に感染が広がります。汚染された土がついたままの野菜や、感染した動物の生肉を食べることで、人にも感染します。



人に感染すると・・・

多くの場合、無症状あるいは軽症で済むと言われていますが、**原虫は一生涯体内に潜伏します**。そして、コロナウイルスの場合と同じく、免疫が正常に働かなくなったときに、重症化することがあります。また、妊婦が妊娠初期に初めて感染すると、**流産や胎児に重篤な症状が生じる**ことがあります。人だけでなく家畜や野生動物も感染し、**感染した家畜は焼却処分などで廃棄**されることとなります。



徳之島の状況

最新の研究では、日本国内でのネコのトキソプラズマ抗体陽性率の平均が約4%なのに対し、**徳之島の野外にいるネコは47.2%**。日本でも**最も高い値**です。しかも、**牛小屋周辺**などのように餌やりによって**ネコが多い場所**ではなんと**70%～90%**という**きわめて高い値**を示しました。

野外のネコを増やすことでトキソプラズマが蔓延し、島の基幹産業である畜産業、島に暮らす私たちの健康、そしてアマミノクロウサギなどの希少種へのリスクになっているというのが徳之島の状況です。

ウイルスから身を守るために

土いじりをしたら手を洗う、生野菜はよく洗う、肉の生食は避けるなど、基本的な感染対策で予防することが大切です。また、地域の感染リスクを下げるためには、野外でネコが増えないよう、餌い猫の放し飼いや野良猫への餌やりをしないことが必要です。ネズミ対策はネコに頼らない方法で行うことも必要です。

島の産業、希少種、島民の健康を守るためにも、私たちの行動の変化が求められています。